

# 市民文芸

## 短歌

阿南市文化祭秋季短歌誌上大会 選

### 中学生短歌 優秀作品（令和3年度）

世界からわんさと集いし勇者たちドラクエの曲と共に入場す  
新野中2年 中村蒼一朗

新米が炊飯器の中でおどっている私の口に早く飛び込め  
新野中3年 神原 悠人

墓参り子孫と先祖ゆつくりと心を伝えたゆたう煙  
新野中1年 久米 壮典

パパママといっしょ焼肉でもママは僕に渡して肉を食べない  
新野中1年 中倉 瞬

涼しさと日暮れの速さに気が付いて夏の終わりを感ずる日々  
福井中2年 岩浅 那瑠

甲子園見ている僕も熱くなる部活の日々がよみがえってくる  
福井中3年 福谷 晟也

夏休み基礎学に向けて勉強だ自分の夢を必ず叶える  
福井中3年 小西 陸斗

夏休み強い日差しに照らされてサーブが打てないテニスの練習  
福井中1年 上原 心夏

## 俳句

阿南市俳句連合会 選

花冷えの畔を固めて苗用意

横手鉄格子

村沈むダムの群青冴え返る

東條 明宏

戦争の新聞広げ露包む

繁木 良子

シャボン玉飛ばして子等の歡喜かな

佐野 峯子

花筵寝転んで見た遠い空

寿田 淳乃

会うてまた奈良に別れる花は葉に

島 玲子

昼からは投げ銭供養花の寺

近藤 まい

稜線の風力発電風光る

藤井 一行

投句後の選句帰らず春の雪

陶久 晴義

泰平の世を見渡せる桜かな

多田紀久代

## 川柳

阿南川柳会 選

八十路来て仁王の前で福もらう

二階千代美

鍵せずに行くよと祖母のデカイ声

西田 修身

指一本触れていません今日までは

野口 吾朗

清らかな水を濁して生きている

原 公美子

あの人と肩触れ合って座りたい

福良 充雄

ぱくがする孫の言葉が温かい

持木 寿栄

草餅のよもぎの香り母思う

渡邊 浪漫

### 一般応募

球根に話しかけては水を注す

秋川 和子

二メートル置いた夫婦の雪月花

島尾美津子

束の間の我が世の春を得た至福

武田 敏子

## 漢詩

阿南漢詩研究会・青松吟社 選

太龍寺奥之院黒瀧寺

大野シゲ子

深山曳杖白雲中

深山杖を曳く 白雲の中

鐘韻相呼古梵宮

鐘韻相呼ぶ 古梵宮

聞説封龍救村落

聞く説く 龍を封じて村落を救う

大師法力萬年通

大師の法力 万年通ずと

### 虹を見る

大地 和子

雨後東天夕照中

雨後の東天 夕照の中

彩橋萬丈半圓虹

彩橋万丈 半円の虹

勿嗤曾問登攀試

嗤う勿かれ 曾て問ひし登攀の試

老耄追懷三尺童

老耄追懷す 三尺の童を

### 梅天即事

池田 行子

草長幽庭煙樹深

草は幽庭に長じて 煙樹深し

梅霏細細濕衣襟

梅霏細細 衣襟を湿す

晴耕雨讀無聊日

晴耕雨読 無聊の日

發紫陽花動我心

紫陽花発いて 我が心を動かす

